

一般社団法人
日本エナジーセラピー協会 (JETA)
代表理事 野村由美氏

我々の身体には、微弱な電流が流れている。脳波や心電図、体脂肪や筋肉量などの計測もこれを利用したものだという。脳や神経間の情報伝達、また細胞活動など全身の器官のはたらきをこの電気運動が司っているわけだが、生活の乱れや食生活、加齢などによって電流が弱まることで、病気などのさまざまな不調が起ってしまう。機械によって微弱電流を帯びたセラピストの手を身体にあてがい、弱った体内電流を整える技術が『エナジーセラピー』だ。低周波の刺激や素手のぬくもりによる心地良さに浸りながら美容や健康に対して幅広い効果を得られる上、肉体だけでなく日々のストレスにまみれた心にとっても、癒しのひとときとなる。

撮影：鈴木愛子



世界初

素手による微弱電流導引で、至福の癒しを。

『エナジーセラピー』

健康と美容に貢献する新技術

大病に倒れた 台北で出会った

「ハンド周波療法」

一般社団法人日本エナジーセラピー協会の代表理事を務める野村由美氏は1966年生まれ、山梨県甲府市の出身だ。従業員4名の小さなメリヤス業を営む家に生まれ、疲れた両親の肩たたきが毎晩の日課だったという。こうした少女時代の影響からか、マッサージは受けるのも行うのも好きという同氏はエステティシヤンの道へと進み、28歳で美容関係商品の卸・販売を手がける会社を起業する。

経営者として慌ただしくピ

気功を人工的に行う技術

エナジーセラピーは、一言で説明すると「気功を人工的に行う技術」ということとなる。

キョ氏自身が持病の治療薬による副作用で肝臓が悪く、その改善のために始められた研究であり、生体電流を整えることで免疫力・基礎代謝・自律神経などに効果がみられる気功を、機械によって簡単に発行できるようにする目的から開発された技術なのだ。かつて中国では、素手による治療をより身体の内側へ効かせる目的から鍼の技術が生み出され、やがて電気鍼などに派生した。これを、電気鍼という「点」ではなく、手のひらという「面」で行おうという発想であるから、理に適っている。

素手による施術の もたらす効果

エナジーセラピーの最大の特徴として、施術を受ける身体に触れるのが金属の端子やパッドではなく、セラピストの素手であるという点が挙げられる。親が子の、また子が親の、身体の痛む箇所に手をあててさするような、気持ちのこもった素手のぬくもりこそが、なによりも人を癒すという想いによるものだ。既存の類似の療法には、手袋など道具を介して行うものはあつたが、素手での施術は世界初という。

このように、素手によって

私を大病から 救ってくれた この技術を、 世界中に広めたい

ビジネスに駆けまわる生活を送る同氏の身に、いまから3年前の2011年に大きな転機が訪れる。事業の足場として行き来していた台湾の地で、多忙がたたり病に倒れてしまったのだ。現地での手術が必要なほど深刻で、とても日本に帰れる状態ではなかったという。このとき、身を案じた知人から紹介されたのが、エナジーセラピーの土台となる「ハンド周波療法」の研究で、キョ・シユウエン氏だった。勧められるままに施術を受けてみると、それまで味わったことのない心地良さから浮いているように軽く感じたという。ハンド周波療法は商売目的ではなく、広く患者を受け入れていたわけではなかったが、無理を言いつて連日通いつめた同氏は、ほどなく日本に帰れるまでに回復してしまふ。この実験からハンド周波療法にすっかり惚れ込み、『エナジーセラピー』と名づけたこの技術を日本に紹介し普及させるべく、同協会を立ち上げたのだ。



エナジーセラピーのもう一つの主役、電流発生装置「セグイトシステムME<SEGUITO SYSTEM ME>」

インバクトのある体験談を紹介しよう。同協会営業部の福谷治雄課長は、昨年8月の健康診断で肝臓の数値の悪化を指摘された。その頃の同氏の顔はほす黒く変色し、背中

同協会営業課長の体験談 肝硬変寸前のB型肝炎から 2週間で生還

の美容目的から、病気の治療や健康増進を目的とした導入までさまざま。また、同協会としても、単なる美容サロニスではない統合医療としての社会貢献性の高さを活かすべく、介護施設や老人ホームなどでのボランティア活動を積極的に行っている。

体験談続々 多方面から寄せられる 期待の声

もちろん、野村氏や福谷氏など内部の人間だけではない。エナジーセラピーの効果は多方面から評価されている。

同志社大学脳科学研究所、京都大学大学院薬学研究所の教授で、世界初のアルツハイマー治療薬「アリセプト」の開発者である杉本八郎博士は、エナジーセラピーを自ら体験した上で、認知症の予防にも繋がるのではないかと分

析。予防だけでなく、既に発症している患者にも症状の改善を期待しており、自身でも「普及に協力したい」と語っている。

また財団法人スポーツセラピスト医学協会の代表理事、小野教太郎氏は、自らもサロンやスクールを広く経営する整体師であり、オリピックに公式トレーナーを派遣するなどの実績を残してきたが、低価格競争やセラピストの過酷な就業状況、技術の低迷など、業界の抱える問題に頭を悩ませていた。そんな折にエナジーセラピーを体験し、その効果はもちろん、施術をすればするほどセラピスト自身も健康になれる点に、

低さは、雇用の面からみても、少子高齢社会に突入する日本の社会にマッチしていると言える。実際に、自らが施術を受けて効果を実感し、うつ病に苦しむ息子を治療したいという想いからライセンスを取得した70代の女性もいるという。

このほかにも、手術を控えていた関節の不調や、頸椎損傷による身体の付随、自律神経の乱れによる睡眠障害や拒食症などが、エナジーセラピーによって劇的に改善したという体験談は、枚挙に暇がない。

自身を大病から救ってくれたエナジーセラピーの普及は「天職、天命」と語る野村氏。今月(2014年11月)には中国の四川省にサロンをオープンするほか、来年の早い段階にハワイのワイキキへのオープンも予定しており、さらにその次にはフランスへの出店を計画しているという。

その目は既に世界をも視野に入れており、経営者としての20年の経験を全て注ぎこむ決意だ。

かつて夜な夜な疲れた両親を労った心優しい少女の手のぬくもりが、いま日本じゅうの、そして遠くから世界の老若男女を癒し、その美容と健康に貢献しようとしている。



●プロフィール
野村 由美 (のむら・ゆみ) 氏
1966年、山梨県甲府市に生まれる。高校卒業後、大手エステティックサロンに入社し、1994年、28歳で美容製品の販売会社を起業する。2012年、一般社団法人日本エナジーセラピー協会設立、代表理事。現在に至る。

●一般社団法人
日本エナジーセラピー協会 (JETA)
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-19-23
第5F P Sビル7F
TEL. 052-951-8030
<http://www.jeta-seguito.com/>

エナジーセラピーの施術

■微弱な電流をオールハンドで経路・経穴に流すエナジーセラピーは、筋繊維の修復やインナーマッスルの強化、脂肪燃焼、骨格歪み補正、体液循環などさまざまな効果が期待できるという。美容では小顔、リフトアップ、美白、肌トラブルの改善が期待できる。またセラピスト自身にもメンテナンス効果が現れるという。写真は左から耳、眼圧、小顔へのアプローチ例。



耳へのアプローチ



眼圧を整える



フェイスナル

肌と肌を触れ合わせて電気を流すため、施術を行うセラピスト自身の体内電流にも良い影響をもたらす。施術を行ううちに自らも免疫力が上がったり、低体温や花粉症が改善したセラピストもいるという。

また、たとえば肺が悪い人に対する施術では、手をあてている背中中に肺の形が赤く浮かび上がったたり、肺の上に手をあてているときは他の箇所とは違う感覚であったりなど、身体の不調を発見する効果もあるという。水分や血液の巡りが悪いことから電気の通りも悪く、それがセラピストの手に違和感となつて表れるのだ。こうした箇所も、電流を強くするなどの調整をしながら施術を重ねるうち、少しずつ電気の通りが良くなるようになり、状態も改善していく。事前に悪い箇所を告げていない場合や、本人も不調に気がついていない場合であっても、セラピストが異変を発見するケースは多いということからも、エナジーセラピーが信頼に足る技

術であることが分かる。さらに、エナジーセラピーには効果の実感を早く得られる特徴があるため、疑問を抱えながら通い続けるなどという心配も無用だ。

セラピスト養成にも注力、「JETアカデミー」を
全国13カ所に展開



機械ではなく技術ありきという理念のもと、同協会はセラピストの養成にも力を入れており、そのための施設としてライセンスを習得した人がリラクゼーションサロンの経営とともに「JETアカデミー」を開校している。現在、全国に13校を展開しており、5日間で合計40時間の講習を受ければ、誰でもライセンスを取得できる。特別な才能や体力などが必要ないことに加え、前述のように、施術を行うことでセラピスト自身にも効果がある。この敷居の

今年9月の時点で、セラピストのライセンス取得者は既に163名、エナジーセラピーを導入したサロン・施設は全国153に上る。協会の設立から2年でこの規模であるから、驚異的な普及スピードだ。直営サロン以外の導入先はエステやリラクゼーションサロン、整体・カイロプラクティック、接骨院、老人ホームやデイサービス、スポーツジムやゴルフ場、リゾートホテルなど多岐に渡り、美顔や痩身など

設立から2年間で
全国153カ所の
サロン・施設に導入、
163名がライセンス取得

疲労除去、凝りや体の歪み矯正、筋力強化、横になった状態での有酸素運動も可能にするという。写真はふくらはぎ、脇腹、腹筋、背骨へのアプローチ例。

ふくらはぎへのアプローチ

脇腹

腹筋

背骨



ふくらはぎへのアプローチ



脇腹



腹筋



背骨